

令和6年度 第3回 谷浜・桑取区地域協議会

次 第

日時：令和6年8月5日（月）午後6時30分～

会場：谷浜・桑取地区公民館 2階 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【報告事項】

- ・地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて

【自主的な審議】

- ・自主的審議事項の進め方について

4 その他

- ・次回地域協議会

令和6年 月 日（ ）午後6時30分～ 谷浜・桑取地区公民館

5 閉 会

地域自治推進プロジェクトの概要

・地域のことは地域で決めて、地域で実行する地域自治の仕組みの強化を目指す。

《現状に対する課題認識》

・「住民同士の支え合い」や「活気を生み出す」ような自治区単位での自主的な活動がなかなか広がらない

その要因 ⇒ 活動を企画・実行する人材の確保が困難
⇒ 地域自治区制度の下で、地域の課題を拾い上げ、地域や市に対して解決策の提案まで到達する事例が限定的

《課題解決の方向性》

・地域と市が一緒になって話し合い、市内各所の多様な資源をいかしながら地域の活力を高めていく取組を実現



《検討の観点》

・どうやって「地域のことを地域で実行できる取組」を生み出していくか
・どうやって「地域の人材」を取り込むか
・どうやって「地域のニーズ」を把握していくか

《検討の展開順序》

・現状のまま推移した場合の課題の深掘り
・合併後20年を迎えようとする今、20年後の将来を見据えた「理想的な姿」の考察
・実現するためのロードマップの策定

※現状の運用も含め、しっかりと時間をかけた議論・検討
※制度を運用していくことを見据えた丁寧な制度設計と合意形成

《検討事項・論点例》

・地域自治の活動を活性化する予算 ⇒ 【事業の検討・提案方法、評価方法】
・地域の活動団体 ⇒ 【公益的活動の充実】
・地域協議会 ⇒ 【役割の再整理】
・総合事務所、まちづくりセンター ⇒ 【地域との関わり方】
・区域 ⇒ 【設定の考え方の再整理】

《検討方法》

・総合事務所、まちづくりセンターを含む庁内での協議
・地域協議会や住民組織など活動団体へのヒアリングと協議
・他自治体の事例調査

《最終目標》

地域に住み続けることに誇りと愛着を持ち、市民生活の満足感の高揚や質の向上が図られる取組を生み出した状態

※スピード感の異なる検討課題に対しては、緊急性に応じて柔軟に対応

※本資料については、今後の検討、協議を踏まえながら整理していくものである。

理想的な姿と取組の方向性・方策

理想的な姿	現状と課題	取組の方向性	方策
<p>地域自治全体 地域住民が地域の維持や振興に向けて、的確に課題を把握し、対策を決定し、課題の解決を実施できる状態</p>	<p>○ヒアリングの結果、地域への愛着や目の届く範囲として、「現在の区域の範囲」が適当とする回答が多数を占めている。</p>	<p>○「考えて決める」ということの一体感を重視し、現在の区域を基本とする。</p> <p>将来的に、地域で見直しの機運が高まってきた際には最適な在り方を検討</p>	<p>方策案 ○区域の維持</p>
<p>地域協議会 地域の課題解決に向けて、地域の意見を的確に把握して対策を考え、決定し、実行につながるよう働きかけることができる組織</p>	<p>○委員の高齢化・固定化等により、多様な意見の把握、意見を踏まえた課題設定に苦慮していると思われる。</p> <p>○話し合われたことが団体との連携等で実行に至ることが少ない。</p>	<p>○「考えて決める」視点と「実行する」視点から必要な見直しを検討</p> <p>○令和6年度から取り組む運用上の工夫の実施状況を踏まえて検討</p>	<p>方策案 ○団体推薦+公募による委員選任 ○公募公選制の継続（委員数を見直す）</p>
<p>地域の団体 地域での公益的な活動を企画し、自主的・持続的に取り組むことができる団体</p>	<p>○町内会では、担い手不足等により活動の継続が困難であったり、活動資金の確保に苦慮しているところもある。</p> <p>○住民組織では、組織力の強化や人材・活動資金の確保、団体間の連携が必要</p>	<p>○地域自治区全域の公益的活動を担う団体（住民組織等）の安定的で継続的な活動の確保に向けた支援</p> <p>○地域内外の団体との連携や外部人材の活用等、地域の枠組みに捕らわれない手法の検討</p>	<p>方策案 ○事務局体制の強化支援 ○組織同士の連携支援 ○地域経営の視点も取り入れた組織の在り方研究</p>
<p>地域自治の活動を活性化する予算 各地域における地域課題の解決や維持・活性化に寄与する予算の仕組み</p>	<p>○地域独自の予算事業について、様々な分野の取組を一律の制度で支援しており、各取組への一層のきめ細かな対応の余地がある。</p> <p>・個々の団体への支援が中心であり、地域自治区全体としての活動にまでつながっていくかどうか未知数</p>	<p>○地域独自の予算事業について、地域の意見等を踏まえ必要な改善等を検討</p> <p>○地域自治区単位の活動を促進するものや取組に応じたきめ細かい支援ができる仕組みを検討</p>	<p>方策案 ○地域独自の予算事業の改善による支援の継続 ○地域自治区単位で予算の使い方を決めて実行につながる制度の創設</p>
<p>総合事務所及びまちづくりセンター 地域の一員として連携し、コミュニケーションが図られ、地域の団体等が「考え、決め、実行する」ことを支援する組織</p>	<p>○総合事務所は、限られた人員で多岐に渡る事務事業を行っている。</p> <p>○まちづくりセンターは、地域の様々な団体との関係構築の機会が少ない。</p>	<p>○ほかの検討項目での方針や方策に応じて、必要な体制を検討</p>	<p>○ほかの検討項目での方針や方策に応じて、必要な体制を検討</p>

検討の方向感
「協働・実行」に留意

検討の視点

- ☞「考えて決める」という視点
 - ・地域の問題や課題を的確に捉えているか
 - ・問題や課題への対策を的確に企画できているか
 - ・地域住民の賛同を得られているか
- ☞「実行する」という視点
 - ・「考えて決めたこと」を実行に移すことができているか

上越市における地域自治のねらい

地域住民の暮らしの満足度を高め、安全・安心・快適に過ごせるようにする（住民の福祉の増進）

（そのために）

行政の取組（公共サービス）に加え、地域の主体的な取組も重要

（そのために）

地域に暮らす住民が自ら主体的に身近な地域の課題を捉え、実情に合ったきめ細かな活動につなげる

「市民本位の市政」と「自主自立のまちづくり」

（そのために）

「都市内分権」の仕組み
「地域自治区制度」の導入

- ・地域協議会
- ・事務所